全国の「風呂じまんの宿」37軒を紹介

特集10～14面

長野県・大町温泉郷

緑翠亭 景水

安曇野の風感じる露天

雄大な北アルプスの麓、立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口に位置する信州大町温泉郷。鹿島川沿いの松並木に面してたたずむ「緑翠亭 景水」（形見勝社長）は、大自然の風情に調和した宿だ。

温泉は、庭園大浴場や露天風呂などの湯巡りが楽しめる。湯は神経痛、筋肉痛、関節痛、リウマチなどに効能があるアルカリ性単純温泉。

「庭園大浴場 高瀬の湯」は、大町を流れる篭川、鹿島川、高瀬川の出合川の流れから名付けた湯。露天風呂「さんすい」を備える。湯船の前には四季それぞれの風景を映す庭園が広がる。

「庭園大浴場 清音の湯」は、松尾芭蕉が詠んだ句「ほろほろと山吹散るや滝の音」から命名。露天風呂は「やまぶき」。芭蕉が眺めたであろう江戸期の情景を再現した。

庭園大浴場は、朝、夕の男女入れ替え制で滞在中に両方を楽しむことができる。

このほかに、プライベートな入浴を堪能できる貸し切りの半露天風呂に47室、蔵の館「紫」に5室で計74室。ひのきや日本庭園を眺める縁側でのんびりできる足湯「楽座の湯」もある。

リラクゼーションとしては、全身オイルトリートメントの「癒楽里」、足癒・美足マッサージの「風楽里」がある。

客室は、湯楽の館「翠」に22室、薫風の館「茜」に47室、蔵の館「紫」に5室で計74室。ひのきや信楽焼の湯船を備えた露天風呂付き客室、安曇野の往時のたたずまいが感じられる調度品で統一した客室などのほか、デラックスツインなどの洋室もある。

料理は、信州牛や安曇野の旬の野菜を使用した季節感あふれる会席料理。宴会は、230畳の「龍安殿」をはじめ、人数、用途に応じて各種の宴会場を準備。パーティーや婚礼などには、コンベンションホール「光雅」が利用できる。

▽長野県大町市平2884の13。☎0261（22）5501。http://www.keisui.jp/

ひのき露天風呂付き客室

大自然に調和した外観

静岡県・観音温泉

飲泉、自家源泉かけ流しの秘湯 観音温泉

奥伊豆の天然の恵みのおもてなし

「飲泉・自家源泉かけ流しの宿」観音温泉（鈴木和江社長）は、奥伊豆の豊かな山間にたたずむ1軒宿。昭和38年、先代社長が温泉掘削を始め、出湯とともに「観音像」を出土、観音温泉が産声をあげた。

この温泉では3本の源泉から湧き出る毎分600リットルもの極上源泉が、すべてのもてなしに息づいている。pH9・5の強アルカリ泉、硬度が1にも満たない超軟水、話題のシリカを豊富に含む源泉は、〝美肌〟を超越して〝うぶ肌の湯〟とまで言われるようになった。飲んでおいしく飲泉にも最適で日頃の食生活で偏りがちなアルカリバランスを整える効果も期待される。ペットボトル入りの温泉水「飲む温泉・観音温泉」は、モンドセレクションで最高金賞と国際優秀品質賞を同時受賞、都内3ツ星レストランのスープにも使われ、この地では煮る、炊く、蒸す、焼く、蒸かすなど全ての調理にこの極上温泉水が使われている。

敷地内の裏山に設置された観音農園ハウスでは、芳醇な甘みのトマトや無農薬野菜が自家栽培され、アルカリ源泉で漬け込んだ梅干とともに大好評。地場の旬な海の幸も豊富で〝地産地消・天然の恵みのおもてなし〟に徹底的にこだわっている。

温泉棟は、星空の満天露天風呂や檜の香り豊かな大総檜風呂が自慢の「ガラティア観音乃湯」に加え、第3号源泉の湧出とともに誕生した「観音プリンシプル」の二つ。「観音プリンシプル」は、極上源泉を日帰りや貸し切り風呂で堪能できる。

宿泊棟はプライベートな露天風呂付きの静かな奥座敷「ピグマリオン」、星空の満天檜風呂や足湯付きの部屋「本館」、豊かな森林ゾーンにたたずむ庭園檜風呂付きの部屋「正運館」、観音温泉発祥の地で昔ながらの湯治や連泊に最適な「産土（うぶすな）亭」など、四つの館がバリエーション豊富に用意されている。

▽静岡県下田市横川1092の1。☎0558（28）1234。http://www.kannon-onsen.com/

観音温泉ピグマリオン「竹の間」

飲泉・自家源泉かけ流し　ジャグジー付きの部屋露天風呂

徳島県・湯元新祖谷温泉

ホテルかずら橋

天空に広がる露天風呂

徳島県湯元新祖谷温泉の「ホテルかずら橋」（谷口宏社長）は、「祖谷のかずら橋」など〝日本三大秘境〟祖谷渓観光の拠点。専用のケーブルカーで行く「天空露天風呂」など、ユニークで充実した温泉施設を備え〝甘〟る。

3階の中庭から可愛いケーブルカーに乗車。しばらくすると祖谷の天空に広がる露天風呂にたどり着く。男性風呂「雲海の湯」、女性風呂「樹海の湯」、そして「天空足湯」と、開放感あふれる湯浴みを楽しめる。

宿泊客のみが利用できる貸し切りの三つの五右衛門風呂、貸し切りの露天風呂「筍の湯」も。湯上がりのひと時はかやぶきの休憩所で一息ついたり、祖谷川を望む展望台、遊歩道を散策したりするのもよい。

館内には男性用「天涯剣の湯」、女性用「天涯花の湯」と、二つの大浴場も備える。

温泉は単純硫黄泉。関節痛、筋肉痛、五十肩などに効果があるといわれる。秘境観光のあとは、風呂「樹海の湯」、そしてゆっくりと旅の疲れを癒やしたい。

▽徳島県三好市西祖谷山村善徳33の1。☎0883（87）2171。http://www.kazurabashi.co.jp/

雲海の湯

ひだホテルプラザ

趣異なる二つの大浴場

ひだホテルプラザ（井乗鞍岳や北アノ下雄志社長）は、ミシュランガイド三つ星に輝いた観光地・飛騨高山の下町の趣を残す古い街並みや日本で唯一郡代役所が残る屋敷「高山陣屋」などの主要スポットは全て徒歩圏内と抜群の立地を誇る。飛騨高山流のおもてなしで出迎える人気の宿。

独自源泉「飛天の湯」は、地下1千㍍付近から湧出したもので、湧出量は毎分406㍑。泉質は、無色透明のナトリウム塩化物温泉で、趣の違う二つの大浴場で楽しめる。

喜多館屋上階である9階にある天望風呂「星の湯 月の湯」は、美しい山並みや乗鞍岳、北アルプスの山々、高山の街並、きらめく星空が広がる、見晴らしの良い大浴場。露天風呂など多彩な設備があり、湯めぐりも楽しめる。

東館地下1階にある浮世風呂「木香の湯」は、和の演出にこだわった大浴場で、外国人観光客にも人気。廊下や脱衣所などの壁面には浮世絵が配されている。浴場の壁面は能登ヒバの漆塗りが施され、浴槽枠は桧を使用。床は畳敷きで温かみがあり、利用者が万が一転倒してもショックを和らげてくれる。脱衣所と大浴場の間の段差を解消するスロープも設置してあり、バリアフリーに対応している。

食事処は、地産地消の会席料理を提供する和食レストラン「華茶屋」、「匠茶屋」、本格フランス料理の「ボンジュール」、中国料理の「來來飯店」がそろう。高山ラーメンが食べられる居酒屋もある。

ホテルは3棟からなり、スタンダードからスーペリア、デラックスのカテゴリーごとにシングル、ツインや和洋室までさまざまな旅のスタイルに応える。

▽岐阜県高山市花岡町2丁目60番地。☎0577（33）4600。http://www.hida-hotelplaza.co.jp/

ジャグジーからの満天の星空や夜景

和の趣「木香の湯」

熊本県・人吉温泉

清流山水花 あゆの里

65年ぶり自家源泉開湯

「日本遺産」に認定された人吉球磨。隠れ里の情緒漂う人吉温泉の「清流山水花 あゆの里」は、球磨川の清流を望むモダンな温泉宿だ。約65年ぶりに自家源泉を掘削したことから、開湯したばかりの湯があふれる。泉質はナトリウム―炭酸水素塩・塩化物泉で美肌効果が期待できる。

「蔵の湯殿」は、目の前に人吉城址と球磨川が広がる大浴場。「人吉城」「蔵」をイメージしたデザインで、陶器風呂、寝湯などの露天風呂も備える。「山並みの湯屋」は、数寄屋造りの趣を取り入れた空間で、露天の岩風呂などから南九州山脈を一望できる。大浴場は男女入れ替え制。

客室は76室で、このうち14室が露天風呂付き。料理は、地元の食材を使い、和食、洋食を取り入れたメニューを提供。地元の蔵元28カ所の球磨焼酎を集めた焼酎蔵と、ワインセラーも完備。館内のセレクトショップには、女将、若女将、若旦那がお薦めする雑貨や特産品を取りそろえる。

▽熊本県人吉市九日町30。☎0966（22）2171。http://www.ayunosato.jp/

露天・大浴場「山並みの湯屋」

熊本県・黒川温泉

湯峡の響き 優彩

最高の湯処、星空散歩も

優しさとぬくもりに彩られる、ひととき―。黒川温泉の「湯峡の響き 優彩」（髙島淳一社長）は、筑後川の源流、田ノ原川沿いに立地し、人気の温泉地ながら落ち着いた雰囲気が宿泊客を癒す。

敷地内の自家源泉から豊富な湯を引き入れ、源泉100％の掛け流しにしている。浴槽の湯を毎日入れ替えて新鮮な湯を提供。泉質はナトリウム―硫酸塩・塩化物温泉で、弱アルカリ性のさらりとした湯ざわりが評判だ。

自慢の湯処が宿泊者専用の「まほろばの湯場」。「まほろば」は古語で「最高の場所」を意味し、趣の異なる三つの風呂がある。竹林に囲まれ、夜間にはライトアップされた幻想的な空間が広がる「竹林の湯」。檜造りの浴槽が左右対称に並ぶ「双檜の湯」。川のせせらぎに接し、夜間にライトアップした滝が眺められる屋根付き露天風呂「渓流の湯」。時間ごとの男女入れ替え制で滞在中にすべての湯を堪能できる。

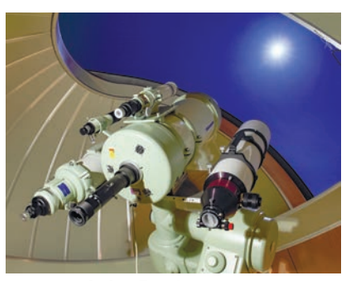
黒川温泉の入湯手形を持つ旅行者にも開放している「やわらぎの湯場」や、バリアフリー対応の貸切露天風呂もある。

館内には、日本トップクラスのメーカーが製造した高精度の天体望遠鏡を備えた天文台「そらしるべ」がある。星雲や星団が見られる30㌢の反射望遠鏡をはじめ、屈折望遠鏡、太陽望遠鏡があり、専属ガイドの解説を受けながら天体観測が楽しめる。

客室は和モダンを基調とした55室。露天風呂付きの特別室もある。料理は地元の旬の食材などを生かした味わい豊かなメニューを用意。一例を挙げると、小国産のジャージー牛乳を使ったクリームブリュレは女性客に人気だ。食事は人数、プランによって部屋食のほか、大広間の「遊膳亭」、和室テーブル席の「和膳亭」、懐かしい囲炉裏を囲む「囲炉裏亭」で提供している。

▽熊本県阿蘇郡南小国町黒川温泉。☎0967（44）0111。http://www.yusai.com/

竹林の湯


天文台「そらしるべ」

大分県・別府鉄輪温泉

おにやまホテル

「地獄」の湯を掛け流し

別府鉄輪温泉おにやま流しの宿だ。

ホテル（上月敬一郎社長）は、別府最大級の露天風呂を堪能できる源泉掛け流しの宿だ。

湯は「地獄」と呼ばれる自然湧出の源泉のうち、「鬼山地獄」から引き入れている。泉温は約98度、泉質は塩化物泉。

高台に位置するおにやまホテルの屋上にあるのが、展望露天風呂「空の湯」。女性用の浴場は別府湾や別府市街地を、男性用の浴場は扇山や鶴見岳を一望できる。十和田石を使用した浴槽をはじめ、檜風呂、陶器風呂、鉄釜風呂などもある。

大露天風呂「鬼山」「玖倍理（くべり）」は、開放感が魅力。南国情緒あふれるヤシなどの樹木で囲まれ、鮮やかな緑が目の前に広がる。男女入れ替え制。他に家族風呂が2カ所設置されている。

客室数は93室。料理は豊後の海、山の幸を生かしたメニューで、夕食は会席など、朝食はバイキング。温泉の蒸気で魚介や野菜を調理した「地獄蒸し料理」も名物だ。

▽大分県別府温泉鉄輪335の1。☎0977（66）1121。http://www.oniyama-hotel.co.jp/

大露天風呂「鬼山の湯」